

2019 年度第 2 回学術情報流通推進委員会  
議事要旨

1. 日 時:2020 年 3 月 9 日(月)～3 月 16 日(月)

2. 方 法:メール審議

3. 出席者:

(委員)

逸村委員(筑波大学), 今井委員(東京大学), 倉田委員(慶應義塾大学), 野崎委員(高エネルギー加速器研究機構), 深貝委員(横浜国立大学), 市古委員(慶應義塾大学), 江川委員(東京大学), 久保田委員(北海道大学), 林委員(科学技術・学術政策研究所), 小賀坂委員(科学技術振興機構), 武田委員長, 木下委員(国立情報学研究所)

(事務局)

小野課長, 片岡副課長, 菅原係長(国立情報学研究所)

4. 議事:

(1) 前回議事要旨について【報告】

事務局(菅原係長)より, 前回議事要旨について資料 1 のとおり提示があった。

(2) 2019 年度 学術情報流通推進委員会の活動について【報告】

事務局(菅原係長)より, 資料 2 のとおり提示があった。

(3) ポジションペーパーの取りまとめについて【報告】

事務局(菅原係長)より, 各ステークホルダーから提出された資料 3-2～3-6 に基づいて作成した, 資料 3-1 が提示された。

【俯瞰図・表について】

- ・ 資料 3-2～3-6 のポジションペーパーについて, どういった視点で整理をしていくか, という議論がまずは必要であり, その整理においては, 研究プロセスのステップを基本として検討しなければならない。
- ・ どのような文脈でのポジションペーパー・提言であるのか, 明確にした方がよいのではないかと。
- ・ 明確化にあたっては, テーマや文脈を絞った上で, 改めて各ステークホルダーにポジションペーパーを作成してもらおう, という手順の方がよいのではないかと。

(4) 2020 年度学術情報流通推進委員会の活動について【審議】

事務局(菅原係長)より, 資料 4-1～4-5 に基づき説明後, 提示内容に対して以下の意見があった。審議の結果, 資料 4-1 については, ポジションペーパーの扱いが未確定のため, 一部文言を修正して承認された。資料 4-2 及び 4-4 については, 2020 年度以降に継続して検討することとなった。資料 4-3 及び 4-5 については, 提示したとおり承認された。

【資料 4-1 2020 年度学術情報流通推進委員会活動計画(案)について】

- ・「(2) 国際協調に係る戦略の検討と提言」に、各種国際会議や委員会等の記載がある。「委員会として」の活動なのか、これらに参画されている方が委員としている、ということなのか、明確にしておいた方がよい。

**【資料 4-2 国内外のオープンアクセス・オープンサイエンス推進のための戦略提言について(案)】**

- ・ 資料 3-1 で示されている俯瞰図・表について、再度整理が必要な状況であり、その後改めて戦略提言について議論すべきではないか。
- ・ 本件に関する 2019 年度・2020 年度の活動範囲についても見直す必要がある。

**【資料 4-3 2020 年度 SPARC Japan セミナー企画ワーキンググループ (WG) の設置について(案)】**

- ・ 企画ワーキンググループのメンバーにどのようなスタンスで企画・運営いただくか、という点も含め、企画に求められる完成度について、委員間で意識合わせをした方がよいのではないかと。

**【資料 4-4 海外動向を踏まえた情報発信について(案)】**

- ・ まずはトピックについて議論を深めてから、担当委員及び今後の進め方について議論した方がよい。

(5) その他

ほかに議題等がないことを確認し、終了した。